

滑川の観光に関する提案書

～海 - 街道 - 里山のマッチング～

平成29年9月

滑川市議会
観光問題・交通アクセス等検討特別委員会

1 はじめに

本市の重要な観光資源であるホタルイカについては、全国的にも知名度が高く、その発する幻想的な光や、味覚としてのホタルイカを求め、春から初夏にかけて多くの人々が滑川市を訪れています。しかしながら、ホタルイカの時期以外は多くの人を惹きつけるだけの観光資源に乏しく、観光を目的に滑川市を訪れる人は多いとは言えない状況となっています。

また、平成27年3月の北陸新幹線開業後、公共交通機関を利用して滑川市を訪れる観光客が増加することも予想され、観光客が市内での回遊性を高めるための方策を検討する必要性が高まっています。

そこで、滑川市議会では「北陸新幹線開業後、滑川市の観光の今後のあり方を検討し、それに伴う交通アクセス並びに高齢化社会にも対応した再構築を目的とする」という趣旨のもと、「観光問題・交通アクセス等検討特別委員会」を設置し、滑川市の観光について検討を重ねてきました。

検討の過程においては、様々な分野・立場の有識者等を招致し、滑川の観光について意見を述べていただくとともに、委員との間で観光振興についての意見交換を実施しました。その結果を踏まえ、滑川市を海・平野部（街道）・里山のエリアに分け、それぞれが持つ魅力を生かすための施策の立案を行いました。

市は観光施策について本提案に則り、積極的に取り組んでいただくことを強く要望します。

2 調査研究の内容

・滑川市の観光の現状及び課題の研究

滑川市の観光の現状と課題について、関係者を招致し事情を聞き取るとともに、課題の解決に向けた方策について具体的な検討を行いました。

・先進事例の研究

富山県職員及び学識経験者を講師として、富山県内の観光に対する取り組み状況及び滑川市が有する観光資源について調査研究を行うとともに、県外の先進事例について行政視察を行いました。

3 調査研究の経過

- 平成 27 年 12 月 4 日 観光問題・交通アクセス等検討特別委員会設置
- 平成 28 年 1 月 22 日 協議会開催（今後の取り組み方針について）
- 2 月 25 日 協議会開催（今後の取り組み方針について）
- 4 月 4 日 協議会開催（滑川市の観光についての意見交換）
講師 滑川市観光協会会長 早川 祐一氏
- 6 月 7 日 協議会開催（日医エスポーツアカデミーについての意見交換）
講師 フットボールセンター富山 事務局長 若松 伸和氏
- 6 月 29 日 勉強会開催（文化財・古い町並み等についての意見交換）
講師 山形大学 地域教育文化学部 教授 永井 康雄氏
（株）中野重光建築工房 代表取締役 中野 重光氏
- 7 月 12 日～13 日 行政視察実施（石川県七尾市：交流人口増加について、
福井県小浜市：まちの駅について）
- 10 月 27 日 協議会開催（美しい富山湾クラブの活動についての意見交換）
講師 美しい富山湾クラブ 理事・事務局長 高桑 幸一氏
- 12 月 15 日 協議会開催（今後の委員会協議の進め方について）
- 平成 29 年 1 月 10 日 協議会開催（今後の委員会協議の進め方について）
- 2 月 21 日 協議会開催（県の施策・滑川市の観光についての意見交換）
講師 富山県観光課 課長 砂原 賢司氏
富山県地方創生推進室 課長補佐 油本 達義氏
- 7 月 10 日～11 日 行政視察実施（福井県大野市：道の駅について、
石川県羽咋市：道の駅について）
- 平成 27 年 8 月 22 日 協議会開催（提案内容の検討）

4 調査研究のまとめ

当委員会にて滑川市の観光施策及び観光資源等について調査研究を実施した結果、以下のとおり提案することとしました。なお、設置当初に検討すべき項目としていたものの、結論に至らず引き続き検討が必要とされる項目については、末尾にその項目を記載しました。

提案事項

海に関する事項

道の駅「ウエーブパーク滑川」の充実

- ◆情報提供の強化……観光客の市内回遊性を高める
 - ①市内や周辺施設を紹介する看板等を設置し、観光客の市内への回遊を誘導する
(道の駅以外にも、滑川駅・日医エスポーツアカデミー・野球場等にも設置する)
 - ②コミュニティバスを使った観光コースを提案し、市内への回遊を誘導する
 - ③レンタルサイクルの無料提供を行い、古い町並み等へ観光客を誘導する
- ◆はまなす公園の再整備……人が集い親しむことができる環境を整備する
 - ①中央を高くし丘をつくり、訪れてみたくなる公園を目指す
 - ②海側・魚津側の樹木を伐採し、眺望や道の駅との往来を確保する
 - ③全面に芝生を植栽し、座ったり寝ころんだり出来るようにする
 - ④防波堤との間の道を高くして段差を無くし、防波堤と行き来しやすくする
 - ⑤ほたるいか群遊海面・定置網・夕日・立山連峰に関する案内板を設置する



はまなす公園再整備イメージ図

漁港周辺の整備

- ◆海岸へのアクセスの改善……釣り客・ダイビング客の利便性を確保する
 - ①漁港魚津側の駐車場から海岸への通路を整備し、海岸へ行き来しやすくする
 - ②防波堤に柵・手摺り等を設置し、釣り客が立ち入りできるようにする
- ◆賑わいの創出……ホタルイカ以外の時期も人が集い、地域に活気をもたらす
 - ①ホタルイカ料理（冷凍ホタルイカも含む）を目玉とし更なる観光客を誘致する
 - ②周辺の事業者へ冷凍ホタルイカ提供の優遇措置を設け、飲食業を誘致する
 - ③創業・出店支援（市街地空き地・空き家活用支援事業）制度を拡充する

海と親しむ

- ◆防波堤に通路・スロープ設置を設置し、海岸へ行き来しやすくする
(道の駅周辺・旧ほたるいかの水井倉庫裏・高月漁港・海浜公園周辺等)
- ◆市民による海岸や河川の清掃を奨励し、海や川の環境に対する意識を向上させる
- ◆「海と親しむマップ」を作成し、海と触れ合える場所・眺望ポイントを案内する
(商店・飲食店も掲載、スタンプラリーの実施、サイクリング客にも対応)
- ◆ウォーキングコースの新設し、市民が海と触れ合う機会を増加させる
(海と親しむコース：いおのみ公園～海浜公園 約4.5km)
(または「立山連峰一望海の道コース」の始点をいおのみ公園とする)

街道に関する事項

旧北国街道沿いの文化財の活用

- ◆まちなか再生事業の新メニュー……伝統的建造物の保存と活用を含めて
- ◆瀬羽町通りの電柱の地中化……不要になった流雪溝を利用する
- ◆国登録文化財のマップの作成(宿場回廊のパンフレットのリニューアル)する
- ◆建物内部を見学できない場合の対応として、内部を詳細に紹介したHPを作成し、QRコードから誘導する



QRコードを用いた案内例



サイクリングブリッジイメージ図

富山湾岸サイクリングコースの整備拡充

- ◆サイクリング道路の見直し……山王町～常盤町を海沿いのルートに変更
- ◆サイクリングブリッジの建設……漁港の左右をつなぐ自転車・歩行者用の橋を建設し、漁港のシンボルとする
(小柴橋周辺～漁港魚津側駐車場)
- ◆サイクリングステーションの新設……領家町(海沿い)の空き家を改築し、休憩場所とする(日医エスポーツアカデミーの合宿所・住民が集う施設としても利用)

里山に関する事項

道の駅の新設（国道8号稲泉交差点周辺）

- ◆国道8号山側の空き地活用の可能性を検討する

有磯海SAの機能拡充（道の駅併設）

- ◆アクセス道路の改良と駐車場の拡大……スーパー農道から直接流入可能とする
- ◆売店への出品手数料の一部を補助し、市内事業者による出品を奨励する
- ◆既存の施設の拡充拡大（農産物直売所の併設等）

魅力の再発見と各施設等のあり方の検討

- ◆みのわ温泉・東福寺野自然公園・ジオサイト（立山黒部ジオパーク）の活用方法と施設等のあり方の再検討する
- ◆「里山マップ」を作成し、里山に親むことができる場所・富山湾の眺望ポイント等を案内する（休憩場所や飲食店も掲載、スタンプラリーの実施）



滑川市内の展望

今後検討すべき課題

- ◆市民・観光客の交通アクセスの利便性向上に向けた、公共交通網の再構築
- ◆ほたるいかミュージアムの魅力向上
- ◆タラソピア・アクアポケットのあり方
- ◆土産物・農水産物の供給体制、販売体制の強化
- ◆民間事業者や市民の観光に対する意識向上についての取り組み